

中高生に読んでほしい！
薬剤師・お薬に関するニュースレター

こ ん ば す

Compass

2023年11月 Vol.9

薬学部3年生：相田、岡瀬、福上、2年生：中村



杉浦 聡 先生

「薬学生のキャリアパスを考える会2023」に参加しました！

在宅医療で活躍されている薬局薬剤師の杉浦聡先生のお話を紹介します！

杉浦 聡 先生

岡山大学薬学部出身。薬局薬剤師として在宅医療に積極的に取り組み、在宅におけるがん患者のサポートのために「緩和薬物療法認定薬剤師」を取得。現在、おかやま薬局上道店の立ち上げに携わり、管理薬剤師として在宅医療を中心に地域に根差した薬局に貢献されている。

薬学生のキャリアパスを考える会2023

当日は、異なる分野をご専門にされる3人の薬剤師の先生方の講演を聞きました

在宅医療における薬局薬剤師の

「パネルディスカッション」
講演後に聴講者からの質問について
経験談を中心に答えいただきました



株式会社おかやま薬局
杉浦 聡

「講演」

杉浦先生には「在宅医療における薬局薬剤師の取り組み」についてお話し
していただきました！



「スモールグループディスカッション」
聞いてみたかったことや気になった
ことをさらに深くお聞きしました

在宅医療に携わる薬剤師で取得可能な主な資格

在宅療養支援認定薬剤師

日本在宅薬学会が認定する、**在宅医療（自宅等で患者が生活しながら受ける医療や介護のこと）の専門家**として、多職種と連携しながら患者の意思を尊重して治療に貢献できる薬剤師の資格です。患者の状況に合わせた薬物療法の最適化に取り組みます。

緩和薬物療法認定薬剤師

日本緩和医療薬学会が認定する、**がん治療などに伴う心身の辛さに対するお薬を用いた専門的なケアに貢献**できる薬剤師の資格です。医療機関や在宅で、がん治療を行う患者の状態に合ったお薬による治療を提案・実践します。

資格を取得することで、より患者さんや多職種からの信頼を得たり、スキルアップしたりすることができるよ！



認定薬剤師になるには

沢山の講義や学会に参加して**必要な単位を取得し、筆記試験**で合格しなければなりません。また、**症例報告**（自身が関わった患者さんについての詳細な報告で、症状や治療方法などをまとめたもの）なども必要です。資格取得後も、**生涯勉強し続けることが大切**になります。

杉浦先生が在宅医療で経験された症例

症例①「骨折で通院困難な患者さん」

高血圧などの慢性疾患の薬を届ける際に、血圧測定器、パルスオキシメーターなども持参し、**副作用や飲み合わせの確認**を行う。



症例②「全盲の患者さん」

朝・昼・夕で薬の保管場所を変える、薬の袋に切れ込みやホチキスなどで印をつけ（朝：ホチキスなし、昼：1つ、夕：2つ）、正しく薬を飲むために**触覚的に分かりやすく工夫**する必要がある。



症例③「難病の患者さん」

パーキンソン病や潰瘍性大腸炎など、幅広い薬に関する**専門的知識**が必要。



症例④「終末期の患者さん」

痛みを和らげる目的で医療用麻薬を使用することも多いため、**訪問医とのカンファレンスでの情報共有や麻薬に関する知識**が重要。規則に従った**適正な麻薬の廃棄**も実施できる必要がある。



症例⑤「認知症の患者さん」

薬の**飲み忘れ**が多いため、薬の一包化、日付の印字、お薬カレンダーなどを活用する。



飲み忘れの防止にこんな口ボも！「FUKU助」

薬剤師が薬をセットすると、登録した時間に薬が出てくるアプリと連携して、利用者の家族も状況を見守ることができる

在宅医療では“褥瘡(じょくそう)”の多さも問題となっている

じょくそう

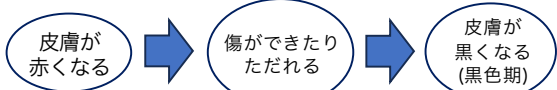
褥瘡…寝たきりにより体重で血管が圧迫され血流が滞って皮膚が壊死してくること

治療方法

- ① **薬剤師のサポート**による軟膏等の薬を傷の進行に合わせて使用
- ② 黒色期の状態は訪問医による創傷部の除去（手術）の対象

予防

- ① 頻繁に寝ている体の向きを変える
- ② 管理栄養士による栄養管理
→ **多職種で連携し、褥瘡を発生させないことが大切！**



在宅医療で褥瘡部位を除去するときは**訪問医が患者の自宅で施術**することも



Q. 在宅医療を行う薬剤師にとって必要な能力は何ですか？

A. 在宅医療は患者さんによって病気が異なるため、幅広い薬の知識を持った“薬のジェネラリスト”である必要があります。特に、終末期の患者さんが多いため、**がんや緩和医療に関する知識**を身に付けておくことにより役に立ちます。

Q. 在宅医療を行う薬剤師と薬局で働く薬剤師の違いは何ですか？

A. 在宅医療で働く薬剤師は、薬局で働く薬剤師よりも**患者さんに関わる時間が多い**ことが特徴です。つまり、患者さんの暮らす環境が良く見えるため、患者さんのプライベートに**踏み込んだ服薬指導**をすることになります。

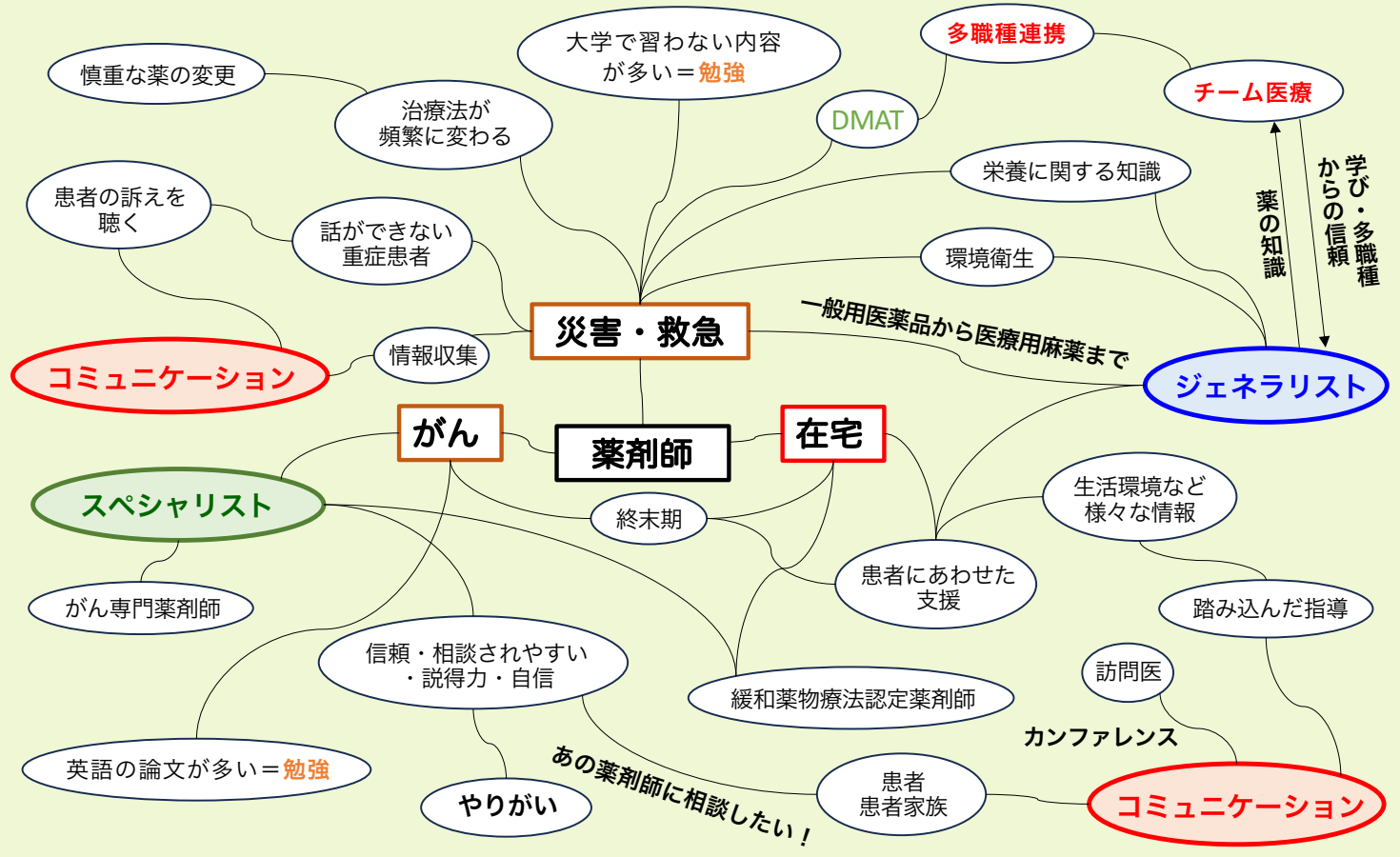
Q. 在宅医療を行う薬剤師として働くうえで、学生時代に取り組んでおくべきことはありますか？

A. 患者だけでなく、医師や看護師、ケアマネージャーなどの医療福祉関係者と連携した対応が求められるため、コミュニケーション能力を身に付けることがとても大切です。学生時代の経験や趣味が患者や医療従事者と仲良くなるきっかけになることもあるので、**学生時代は勉強だけでなく遊びも大切です**。また、外国人の患者に対応することもあるので、TOEICなど**英語の資格**を取得することは強みになります。



杉浦先生とSGDの様子

私たちが考える在宅医療に注目した薬学生のキャリアパス



在宅医療に携わる薬剤師になるために重要だと考えた3つのこと

① コミュニケーション能力

災害時の他職種との連携、在宅医療では訪問医との治療方法の相談など、薬剤師は**患者だけでなく幅広い場面で様々な職種とのコミュニケーション能力**が求められる

② スペシャリスト

救急認定薬剤師、がん専門薬剤師、緩和薬物療法認定薬剤師など各分野で専門資格を取得してスペシャリストとなることで、**信頼されて頼られる**、話す内容に**説得力が増す**、自分に**自信がつく**、**やりがい**がさらに増す等も様々なメリットにつながる

③ ジェネラリスト

さまざまな分野の知識やスキルを持った人材

スペシャリストであることも重要であるが、“特に在宅医療では”、**すべての分野についての幅広い知識を持つジェネラリスト**が活躍することができる。また、薬剤師は**新しい薬について学ぶなど日々勉強し続ける**必要がある



杉浦先生とSGDの様子